

三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2010.11.4

No.1972
No.14



出席率	会員50名中33名
先々週の出席率	87.23%
ゲスト	第2560地区ガバナー 東山 昶也様 // 地区会計長 宮澤英文様 (落語 講演) 三遊亭金時師匠
先週の メイクアップ	10/26 三条北RC 〆 星野健司君 草野恒輔君 10/27 三条RC 〆 野島廣一郎君 10/28 見附RC 〆 荏澤喜一郎君 10/28 三条東RC 〆 草野恒輔君 野島廣一郎君 11/2 三条RC 〆 赤塚 寧君 飯山勝義君

東山ガバナーを迎えての第4分区親睦交流会



開会挨拶

三条ロータリークラブ 会長
樺山 仁

ただ今ご指名頂きました、三条ロータリークラブの榊山でございます。開会の挨拶を致します。

本日は、2560地区東山ガバナーさんへの感謝の気持ちを表すためと、第4分区会員相互の親睦を原点に、会員全員が東山さんの熱き心に触れ感動し、我々会員も一歩前進したところでございます。

第4分区の各クラブの公式訪問も、本日三条東クラブをもって無事に11クラブを終了され、本当に御苦労様でした。体力勝負であられたと思います。

ロータリーの精神は、どうやったら皆の為になるか、“Do for others”の精神と考え、ロータリアン全員が実行しなければなりません。よろしくをお願いします。

本日は、三遊亭金時さんの日本の文化である話芸をお楽しみ頂く訳でございますが、金時師匠は、本日の講話で3日連続の講演でございます。と言うのは、11月4日に三条ロータリークラブの定例の、金時師匠を囲んでの例会を去年から企画済でありましたが、たまたま東山ガバナーさんに対しての本日の懇親会が決まりましたので、金時師匠にお願いして、11月2日・三条RCの家族例会と、3日・ごぼさま寄席、4日・本日の懇親会と、3日連続の講話という事になった訳です。金時師匠には深く感謝すると共に、無理なお願いを致しまして、お詫び申し上げます。

毎年この時期には三条にいらして頂いておりますが、大勢の方に日本の文化である話芸をぜひ堪能して頂きたいとお願い致しました。そして、今日の企画を組ませて頂きました。

会場の皆様、大いに楽しんで頂きたいと思っております。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから—

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス [アメリカ]
第2560地区ガバナー 東山 昶也 [高田]
第4分区AG 荏澤喜一郎 [三条南]
会長 大 溪 秀 夫
幹 事 野 崎 正 明
S A A 平 松 修 之

事務局 〒955-8666 三条市旭町2-5-10

三条信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

ようこそ第4分区へ ガバナー挨拶



R I 第 2560 地区 東山 昕也 ガバナー



1. メンバーの教育の大切さ ・・・ロータリー情報の活用
2. 会員増強の具体的方法
 - ・受入れ体制を整える
 - ・会長の強い意志
 - ・問題点の整理
3. 出席委員会の戦術 ・・・メイクアップの奨励
4. クラブの強化 ・・・リーダーシッププランの活用
5. 新世代奉仕 ・・・新たに奉仕月間に加えたこと

第4分区寄席



落語
三遊亭金時師匠



「二番廻り」

分かったわかった、のっけわしがやるけども、あとおまはんらでやりや、分かってるな頼むでホンマに……、そっち金棒ジャランジャランと鳴らしてんか、拵(き)にもチョンチョンと打ってくれるか、ほないくで……

♪ 火のよ～～じん、火の回り、火の元用心、さっしやりましょ～～っ♪

.....

をご披露いただきました。

◆略歴◆

昭和 37 年	11 月東京都新宿区生まれ
53 年	堀越高校入学 野球部へ入部
61 年	東海大学経済学部を優秀な成績で卒業 同時に父である四代目「三遊亭金馬」に入門
平成元年	二ツ目昇進
平成 10 年	真打ち昇進

◆出演◆

昭和 62 年	TBS「モーニング Eye」レギュラー出演
昭和 62 年・63 年	文化放送エースコックコマーシャルに出演
平成 2 年	NHK「昼のプレゼント」レギュラー出演
平成 3 年・4 年	二年連続でNHK落語新人コンクール入選
平成 6～7 年	NHK小朝が参りましたレギュラー出演
平成 7～年	ラジオ日本“金時の神奈川見聞録”にパーソナリティとして毎週出演中
平成 12 年	NHK 朝のテレビ小説“私の青空”に春風和夫役で役者デビュー
平成 14 年	NHK 朝のテレビ小説“私の青空 2002”に出演
平成 16 年	文化庁芸術祭演芸部門新人賞受賞
平成 17 年	国立演芸場花形演芸大賞銀賞受賞
平成 18 年	国立演芸場花形演芸大賞金賞受賞



- ◆好きなこと、好きなもの
お料理・野球・ゴルフ・エアロビクス・昼寝・ウクレレ・常磐津・墨絵・ウォーキング・女性鑑賞・お酒少々
- ◆嫌いなこと、嫌いなもの
お片付け・後始末・セロリ・みょうが・うど・ふき・みつば
- ◆特技
篠笛・踊り・英会話少し
- ◆食う寝る所
世田谷区松原



国際ロータリー第2560地区 第4分区

東山ガバナーを迎えての親睦交流会



開宴の挨拶

三条東RC 菅家敏彦会長



皆さん、今晚は。

只今から、東山ガバナーをお迎えし、第4分区親睦交流会、第2部を始めさせていただきます。

本日は、お忙しい中、中条、馬場両パストガバナーを始め、第4分区内の多くのロータリアンのご出席を賜りまして誠に有難うございました。

私は、本日の設営役を仰せつかりました、三条東クラブの菅家と申します。よろしくお願ひいたします。

実は、本日の合同懇親会という形は、初めての事と伺っております。

東山ガバナーの想いの一端を、実現されたものと思ひます。

皆が、一同に会することによって、“広く、分区内の親睦、交流を図る”と

いうことであり、東山ガバナーのご挨拶にもありました様にロータリアンの結束をはかる目的があるものと思ひます。意義のある企画と思ひます。

ガバナーには、既に、48クラブの公式訪問を終えられたと伺いました。日ごろからのご指導に改めて心から感謝申し上げます。知力と体力が無ければ、とても出来ることではありません。心から、敬服いたすものであります。

お酒を前にしての長話は、如何なものかとは思ひますが、少々、お時間をお借りしたいと思ひます。

実は、私自身、ワインが好きなところもあるのですが、最近、店頭で手にした「越後えびかずら維新」という本のことです。「えびかずら」とは葡萄の日本古名とのこと。新潟の地で、初めてワイナリーを始めた川上善兵衛さんという方のお話です。

それが、東山ガバナーゆかりの地、上越の地での感動の物語であることから、歓迎の意味も含め、また、地元新潟の方々にもご紹介したかったことから、この場をお借りし、紹介をさせて頂こうと思ひたのであります。

100年前、ひとり、雪深い寒村で私財をなげうち、ワイン葡萄の植栽と改良に生涯を賭け、新潟で始めてワイナリーを始めた川上善兵衛という人の苦心、研鑽の物語です。当時、親交もあった勝海舟からの励ましなどもあったようです。品質の良いワインは、よい葡萄からと、沢山の品種から、交配を行った数は、記録から、何と、一万株を越したといわれます。日本の風土に根付く葡萄を栽培し続けた努力が壮絶なまでに語られているのです。かなりの部分を、実在したであろう森脇トヨさんという「高田の替女さん」の回想を通して語られているのには、ある種の驚きを感じませんでした。

皆様には、ご承知の上越にある「岩の原葡萄園」開発の歴史です。幾多の苦労の後作り上げたマスカットベリーAという品種を使ったワインが、2009年の国産ワインコンクールで、金賞を受賞したくだりには、大変感動しました。

皆様もご存じと思ひますが、世界的なソムリエの田崎真也さんは、この本を読まずして、日本のワインを語れないこと、もし、仮に一世紀前に戻れるのであれば、真っ先に、善兵衛翁の手を握り締め、「有難うございます」とお礼を言いたいと語っておられます。

「岩の原ワイン」は、今までも飲んではおりましたが、これからは、川上善兵衛さんの偉業に思いを馳せながらゆっくりと味わっていこうと思ひました。

近いうちに、一度、「岩の原葡萄園」を訪ねてみようと思ひておりましたが、先週の日曜日、31日に行つて参りました。当時の石蔵、資料館などを回り善兵衛翁を偲んで参りました。

つけ加えますと、現在、東洋一といわれるサントリーの「登美の丘ワイナリー」は、昭和11年、奇しくも私の生まれた年ではありますが、協力者であった壽屋の創始者、鳥井信治郎が山梨県に買い取つた農場に作られたもので、善兵衛翁の指導の下、善兵衛翁の娘婿が初代農場長として始められたものです。

あの「登美の丘ワイナリー」が実は川上善兵衛翁の指導により創られたことを知り、新潟人の凄さを改めて感じました。

最後になりましたが、本日の、この親睦交流会のため、いろいろと、ご指導賜りましたアシスタントガバナーの葺澤さん、そして、三条クラブの榊山会長さん、幹事の明田川さん、本当に、有難うございました。心から感謝を申し上げます。

今宵の親睦交流会が、皆様にとって実りあるものとなることを願ひまして、開会の挨拶と致します。時間の許す限り、どうぞ、ゆっくりとご歓談頂きとうございます。有難うございました。



みなさん今日は。ご指名を頂きました三条北クラブの中條耕二でございます。パストガバナーとして一言挨拶せよとのご命令を荏澤AG・三条東クラブの菅家会長の連名でお受けしましたので僭越であります但述べてみたいと思います。

先ず東山ガバナーには、三条RCはじめ第4分区内 11 クラブのご指導頂きました。公式訪問では「熱意ある行動こそ奉仕の本質である」とスピーチされました。きずな（友絆）をテーマに挙げ、楽しく元気なクラブづくりをしないさいと励ましていただきました。11 クラブ 398 名の会員を代表して先ずもって感謝とお礼を申し上げます。どうぞ本日は楽しい一時をごゆっくりお過ごし下さいますようお願い申し上げます。

私も東山ガバナーのもと地区の財団委員長として奉仕しておる一人であります。去る 10 月 19 日地区の財団委員会の際にメンバーから一つの提案がありました。地区に固定事務所がないのはどういう訳かとパストガバナーである私に質問がありました。

この固定事務所は他の地区ではほとんどあり、2560 地区、当地区だけは未だに存在しておりません。メリット・デメリットを考えてみてもあった方が良い。貴重な文献の保存、情報の中心的役割等、メリットは充分あると考えられます。

その時は三条が県央の中心地であり、高速インター、新幹線駅あり、交通の利点あります。しかしなによりの事は三条 4 クラブは、長岡に比べ、他の類似都市に比較して人口当たりのメンバーが大変多いことあります。単純に長岡に人口 23 万人、長岡RC42 名、長岡東RC68 名、長岡西RC42 名、栃尾RC20 名、計 172 名。三条は三条RC53 名、三条南RC51 名、三条北RC70 名、三条東RC41 名、計 215 名、人口は 10 万強であります。トータルでも 43 名多いのです。如何に三条が県下一の人口一人当たりの数が多いか、奉仕の精神に邁進しているかお解りのことと思います。正に全国でも有数なロータリーの数の多い所であります。この事が三条に固定事務所を持つ理由であります。

ガバナー会の中核はパストガバナーの馬場PGであり、この 4 クラブ始め分区内 11 RC の結束によりこれから、県内の中心的位置にある固定事務所は三条にとご提案申し上げる次第であります。

本日は 11 クラブの皆さんが仲良く東山ガバナーを囲んで親睦の実を挙げ、更なる発展と会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈りしてご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

友絆を深めて



表紙について



アルフレッド・シスレー (1839~1899)

■「サン・マメスのロワン河畔の風景」

1881年

鹿児島市立美術館

ロータリーの友 1988 年 11 月号表紙より

三条南ロータリークラブ週報

2010.11. 4

No.1972 No.14